

白馬中学校 学校運営協議会 議事録

日時：令和8年8月31日(月) 14:30-16:30

場所：白馬中学校 校長室 ランチルーム

出席者：白馬中学校 学校運営協議委員 10名、白馬村教育課教育指導員、白馬中職員

I グループ別意見交換のまとめ

今年度後半と、来年度に向けての方向性について、①総合的な時間、②登山、③総合発表会、④特設の時間（あい TIME・とくとき TIME など）・日課、の4つのグループに委員と学校職員が別れて、意見交換を行った。その後、運営協議会にてそれぞれのグループの話題について報告と協議会での意見交換を行った。

① 総合的な学習の時間

- **カリキュラム・ねらいの明確化**：年度当初に全校・学年・学級での活用時間を明確にし、学校としての統一感を持たせる。また、学校としての「ねらい」を設定することで、外部講師が指導しやすい環境を整える。教員自身の自己評価を取り入れ、主体的に学校づくりへ参画する意識を高める。
- **地域人材の活用（キャリア教育・探究学習）**：SDGs ミーティングのように多数の地域講師（約20名）を招き、生徒が興味のある内容を選択して話を聞く形式への発展を検討。
- **防災学習と地域学習**：神城断層地震の振り返り等を通じ、地震発生時の具体的防災行動（ブレーカーの切断時の行動）や予防意識の再確認を行う。
- **生成 AI の活用検討**：今後必須となる AI 技術について、利活用だけでなく適切な理念や目的を理解して主体的に使いこなす取り組みの導入を検討（2030年に向けたウェルビーイングの視点を含む）。
- **ジュニアフォーラム（白馬フォーラム）の中高合同開催検討**
高校連携と会場課題：白馬高校（白馬フォーラム）との合同開催に向け調整中。しかし、会場（ウイング：定員約500名）の収容人数の関係上、中高生徒・教員および糸魚川高校（1学年）で座席が埋まり、保護者や一般来場者の受け入れが困難になる懸念がある。保護者の参観制限も含め、開催形態の調整を継続する。

② 登山活動（学校登山・村民登山）

- **安全管理と継続性の議論**：近隣での滑落事故等を受け、リスクに対するそもそもの必要性の見直しや代替案の検討、事前学習（滑落防止や安全確保と楽しさのバランス）を強化する。
- **地域連携と体制確保**：教員側の登山経験や体力の個人差に配慮し、学年担任以外の引率体制工夫など負担軽減策を検討。ガイドへの時間配分委任や地域人材・村の力を積極的に活用する。
- **運用の工夫**：混雑回避のため日程の早期化を検討。今年度は出発時間を1時間繰り上げて実施したが、ゴンドラ事業者（八方側）から「来年度は早朝の早期運行対応が確約で

きないかもしれない」との話があるため、武藤氏を通じて調整を図る。

- **村民登山報告**：8月2日～3日に実施（中学生2名参加、全員無事下山）。募集段階でのルート設定工夫や林道バスの活用により安全に行程を消化。来年度は8月から9月開催への変更などを検討中。

③ 総合発表会（運動会・合唱祭等）

- **行事の構成と生徒の負担・目的の再整理**：有志発表等の増加に伴い「総発」自体の位置づけや発表目的を再整理する。運動会との同時期開催を避け、単独（1日半程度）で集中できる環境を整える案や、「白馬中ジュニアフォーラム」の名称に「総合」を入れる案が出された。
- **運動会種目の見直し**：練習負荷や人間関係への影響が懸念された長縄跳びを廃止し、縦割り班で協力して取り組める「玉入れ」や各種リレーを導入。
- **合唱コンクールの評価方針**：成果を互いに認め合う形へ変更するため過度な順位付けを避け、各クラスの良さを称える賞を授与する方針。応援うちわ等のコンサートの演出は避け、学習発表としての質を重視する。
- **表現活動のあり方**：ダンスや部活動等の発表は強制せず、有志主体とすることで前向きで活気ある発表の場とする。

④ あいタイム・とくときタイム（選択講座「i-Time」）

- **運営の現状と課題**：月曜・木曜に各10講座を開設しているが教員の準備負担が大きい。講師の高齢化・冬期交通不安による後期講座（つで筆・手話）の中止、難易度のミスマッチ（日本語検定の廃止検討）、試験日程と噛み合わない講座（食生活アドバイザー）等の課題が浮き彫りとなった。
- **改善提案**：けん玉、フットサル、習字、韓国語、ギター、イラスト等の新規講座や、地域・公民館講座（中国語、アスリート向け食育など）の活用を提案。
- **運用形式・時間設定の見直し**：一斉決定方式から、タブレット等を活用した自主探求・資格学習スタイルへの移行や、現行の「30分×10回」から「60分×5回」への変更による効率化・実践的講座の実施を図る。白馬検定等の活用により地域連携も深化させる。

II 運営協議会 質疑

1. 学校側の報告・説明

- **安全管理・防災意識の再確認**：近隣での滑落事故等を受け、学校活動における安全対策の重要性を再認識し、気の緩みがないよう指導・管理を徹底する。
- **教育活動・学習指導の推進**：探究学習・あいタイムの推進、部活動地域移行に伴う「授業」を中心とした教育活動の質的向上、白馬の伝統や地域住民の思いを尊重した学校運営を行う。
- **行事・学校生活の状況**：修学旅行（7月京都・奈良）、登山学習、2年生防災宿泊体験（B&G施設）を無事終了。8月20日より後期授業を再開。休み明けの不登校傾向・登校渋り生徒への個別ケアを強化する。
- **新教育大綱と学校グランドデザインの改定**：第3次白馬村教育大綱改定に伴い、目指す子ども像を確定。

- 白馬村が目指す子ども像：「慈愛の心を育み 未来を拓く 学びびと」
 - 白馬中学校が目指す生徒像：「白馬を愛し 自他を認め 夢を拓く人」
- これに基づき、来年度に向けた学校グランドデザインの改定・見直しを進める。

2. 冒頭共有・各種活動報告

- 地域イベント等の振り返り：マウンテンフェスティバルや白馬ストリートフェス等の報告。前泊ツアー登山の悪天候による直前中止判断の事例から、山およびイベント運営の判断の難しさが共有された。
- 生徒の活躍・成果：
 - NI さん（3 年）：アジア競技大会（スケートボード男子パーク）への出場決定。
 - KK さん、UH さん（3 年）：環境省「グリーンブルーエデュケーションフォーラム」にて「環境大臣賞」を受賞。

III その他連絡事項・今後の予定

- 地域ボランティア参加：来週開催の「白馬国際トレイル」に生徒約 20 名がボランティアとして参加予定（選手として出場する生徒も含む）。
- 次回（第 3 回）学校運営協議会：
 - 日時：11 月 20 日（金）
 - 内容：ジュニアフォーラムの参観および協議会開催
 - 備考：詳細日程は確定次第、メールにて案内予定